[飯田美和子　　一般質問　Ｈ２３年６月～Ｈ２６年３月まで合計２７件]

\*平成２３年６月定例会（質問件数２件）

（災害・防災計画について）

１．防災計画の現状は

２．防災計画の見直しを検討してるのか？いつするのか？

３．学校や保育所などで災害ごとのマニュアルはあるのか？

４．防災計画の見直し後、町民への周知はどの様に行うのか？

５．今後、様々な災害を想定し、災害別の計画が必要では？

（特別養護老人ホームの民営化について）

１．特別養護老人ホームを民営化する目的は？

２．民営化によりどの様なメリットがあるのか？問題はないのか？

３．民営化された場合、職員の意向に合った職場確保は万全か？

４．民営化をすることによりサービスの低下が心配だが安心安全の老人ホームを維持できるのか？

５．今後の民営化計画のスケジュールは？

＊平成２３年９月定例会（質問件数２件）

（浦河町における学校・公共施設の耐震化を早急に）

１．文科省による耐震改修状況調査で町内の学校は２７．９ポイントだが耐震度が最も低い学校はどこか？

２．現在耐震改修が済んでいる学校・公共施設は？

３．耐震改修促進計画で整備スケジュールと整備プログラムは？

４．耐震改修は大震災前の計画だが耐震化の早期実現は喫緊の問題と考えるが、国の基準（Ｈ２７まで）では遅いのでは？

５．学校・公共施設の耐震診断・耐震化のスケジュールは？

（認定子ども園の現状と課題は）

１．４月からスタートした認定子ども園だが、当町の待機児童数は？

２．認定こども園において短時間保育児と長時間保育児と偏りなく保育されているのか？

３．認定こども園の幼稚園籍・保育所籍での３歳児以上の就学前教育の違いはあるのか？

４．昨年の保護者説明会で「堺町保育所の保育を引き継ぐ」との説明だったが現状はどうなっているのか？

５．幼稚園の直轄は文科省、保育所の直轄は厚労省の中で、職員の給与携帯、共済組合、福利厚生などが異なり問題は生じていないのか？

６．今現在ある町立保育所は存続するのか？今後新たに認定子ども園を増園するのか？これからの町の考え方は？

\*平成２３年１２月定例会（質問件数２件）

（高齢者の「足」の確保につて）

１．町内の路線バスの運行状況はどの様になっているのか？

２．独居老人や高齢者世帯が「医療難民」「買い物難民」化してゆく現状をどう捉えているのか？

３．高齢社会を迎え高齢者や障害者などの交通弱者の足を確保するために従来と異なった新たなサービスが必要では？（高齢者世帯や障害者世帯への民間業者の宅配等）

４．路線バスの恩恵に与っていない地域の方々に「福祉バス」等のニーズが高まって来ていると思うが町はどの様に考えているのか？

（検診時における高齢者の送迎について）

１．特定健診、各種がん健診の過去５年間の推移は？

２．特定健診、各種がん健診において現在よりも受診率を向上させる為に町はどの様に考えているのか。

３．高齢化が進む中、高齢者の受診率を向上させるためにも、検診時に西部地区・東部地区の高齢者を送迎してはどうか？

\*平成２４年３月定例会（質問件数２件）

（小中学校のパソコンの配置と校内ＬＡＮの整備を）

１．小中学校のパソコン授業の際、学級人数分のパソコンが配置されているのか？

２．各学校のパソコンの環境はどうなっているのか？

３．普通教室でもインターネット利用を可能にするためにワイヤレスでの校内 ＬＡＮ整備は考えているのか？

４．現在の社会でも欠かすことのできないパソコンを子ども達にしっかり学んでもらう為にもソフト購入の予算の拡充が必要では？

５．小中学校におけるパソコン教育について今後の町の教育方針をお聞きしたい。

（部活動費の保護者負担の軽減を）

１．今現在、町の中学校の部活動での中体連主催の各種スポーツ大会の地区大会から全道大会までの年間の出場回数は？

２．中体連主催の地区大会、全道大会出場時に町のバスを年に1回なら無料で利用できると聞いてるが、大会出場時の昨年の町のバスの使用回数は？

３．中体連主催や、後援の大会以外の大会(北海道体育協会・北海道教育委員会等主催・後援の大会）には、交通費などの町からの補助が無いようですが、今後、町からの補助などは考えていないのか？

４．中学校部活動における保護者負担の軽減のためにも、大会補助金交付取扱基準の緩和や、中学校部活動への補助の拡大が必要では？

\*平成２４年６月定例会（質問件数２件）

（元気な高齢者を増やす施策を）

１．町は医療費抑制のための新たな施策を考えているのか？

２．高齢化が進む中、必要な介護人材や看護師の確保や、医療人材について町はどう考えているのか思い切った増員への取り組みは考えていないのか？

３．これから元気な高齢者を増やすためにもシニアパスポート事業の入浴の送迎時にアエルに保健婦や看護師を派遣し入浴前の血圧測定や体調チェックや栄養指導などをしてはどうか？

４．高齢者の方々により健康に関心を持って健康づくりに励んでいただけるよう、町主催のスポーツ行事やラジオ体操や検診に行くとポイントがたまり年間で高得点 の人に景品がもらえるというような取り組みをしてはどうか？ 参加して健康になり、健康づくりを励んだ人には景品をということであれば病気の予防に関心も増え医療費抑制にもつながるのでは？

（子どもを安心して産み育てやすい街づくりを）

１．これから益々減少が予想される少子化の流れに歯止めをかけるために子育て世代へのサポートや子どもを育てやすい環境整備が重要だと思うが、子育てしやすい町づくりの為に町は今後どのように考えているのか？

２．少子化対策のためにも子どもを育てやすい環境づくりが重要だと思うが、今後当町の保育所でも保育サービスを拡充し、一時預かり保育などの実施や延長保育や病後児保育などの更なる充実を視野に入れるべきでは？

３．子育てと仕事の両立を安心してできるようワークライフバランスの取り組みを進めるためにも職場環境づくりに取り組む 企業を応援するため、浦河町独自で制度を創設し、初めて育児休業者が出た場合、例えば助成金を企業に補助するとか入札における優遇制度をとるなど考えてみてはどうか？

\*平成２４年９月定例会（質問件数３件）

（中心市街地に子供とお年寄りの集える場所を）

１．大通り中心市街地としての、今後のビジョンを、町としてどう支援してゆくのかまた、どのように関わっていこうとしてるのか。これからの浦河町としての町づくりをどうしてゆくのか？

２．中心市街地に、活気と人の足をとり戻すためにも、町として何か施策を考えているのか？

３．ＭＩＯの空きスペースを活用し、子供が遊べるスペースと、お年寄りが集えるサロンを作ってみてはどうか？

（アエルにキャンプ場を）

１．浦河町として、これからの観光を考えたとき、アエルをもっと活用すべきでは？

２．浦河町として、オロマップキャンプ場以外にキャンプ場の設置やデイキャンプができるような施設の設置は考えていないのか？

３．アエルに子供連れの家族が、安心してキャンプできるキャンプ場の設置を検討してはどうか？

（父子家庭への支援の拡充を）

１．今現在、父子家庭の町営住宅の優先や保育所の優先などは行われているのか?

２．浦河町として今後、父子家庭への支援をどのように考えているのか?

３．子供の教育や生活を守るためにも、母子家庭の支援のように、父子家庭へも子供が１８歳になるまで、町として資金の貸付や、生活支援の拡充を図ってはどうか?

\*平成２４年１２月定例会（質問件数３件）

（｢赤ちゃんマップ」の作成を｣）

１．安心して子供を産み育てる環境整備の為に、子育て支援や、育児の援助 活動の充実が求められていますが、今現在、町内にある施設などに、母 親と一緒に入れるトイレや、授乳できる場所、また、オムツを交換できる場所を町としては把握しているのか？

２．若い母親たちの子育てに対する不安を解消するためにも、安心して子供と一緒に外出できるよう、そういった場所が一目でわかるような「赤ちゃんマップ」を作成してはどうか？

（冬の災害発生時の備えは）

１．昨年より、進められている、浦河町地域防災計画の進捗状況について、今現在、どこまで進んでいるのか？

２．今回の、胆振管内の大規模停電から、北海道の防災として弱点でもある冬の停電が問題になったが、当町の防災無線やスピーカーや、非常用のバッテリーなど災害時 にどれだけ備えているのか？ また、万全か？

３．今後、この様な停電や災害が厳しい冬季期間に発生するかもしれないということを想定して一人暮らしの高齢者など「災害弱者」が孤立しないようこの教訓を生かした防災対策の推進を。

（高齢者と障がい者に「安心キット」の配付を）

１．今現在、独居老人の数が増加傾向にあり、地域社会で支えあう必要性が高まってきているが、救急時の対応として今後、浦河町としてどのような支援を進めようとしているのか？

２．障がい者についても、今現在町としても自立や社会参加について支援しているが、住み慣れた地域で地域生活を営む事ができるよう、支援しているところだが 、救急時の対応として、浦河町としてどのような 支援を進めようとしているのか？

３．高齢者や障がい者の安心・安全な環境を作る為にも、「安心キット」の配布を検討してみてはどうか？

\*平成２５年３月定例会（質問件数３件）

（生活保護基準引き下げによる就学援助制度への影響は）

１．通常国会において生活保護基準の引き下げが実施される予定だが、当町の就学援助の対象者にどれだけ影響があるのか？

２．国の試算では３７制度に波及するとあるが、生活保護基準の引き下げに準じて当町で影響のある制度は他にどれくらいあるのか？

３．生活保護基準の引き下げにより生活保護世帯にとどまらず、多くの町民への影響が予想されるが、就学援助対象者の基準を町として変更する考えはあるのか？

（地元高である浦河高校への支援を）

１．昨年から浦河高校が総合学科となり、本年度本格的に稼働し始めるが、介護の学科などの新設などで学科も多様化しているが、将来町の様々な職場での、活躍が期待される浦河高校の生徒への支援を町はどのように考えているのか？

２．昨年、浦河高校への入学を望んでいた他町の生徒が、下宿先が無いことから、入学を断念したとの経緯を聞いてるが、下宿先や住まいの確保はできるだけ町として支援すべきだと思うが、このことについて町はどの

　　ように考えているのか？

３．今後、地域や近隣地区の子供たちが行きたい学校となるよう、町ぐるみでの支援が望ましいと思うが、道立高校ということもあり、町が直接支援するのは難しいが、今現在ある「浦河高校を応援する会」を介し、これから浦河町の将来を担ってくれる浦河高校の生徒へ更なる支援を考えてはどうか？

（高齢者や障害者を地域で支えるまちづくりを）

１．浦河町内の高齢者や障がい者などの、要援護者を支える為にも、万が一に備えた地域ぐるみでの見守りが必要だと思うが、町として要援護者へ支援をどのようにしてゆこうとしているのか？

２．浦河町内での身寄りのない方の孤立死の対応は、今現在、町の対応はどのように行われているのか？

３．これからも増加されると思われるいたましい「孤立死」を少しでも減らすためにも、災害時の要援護者のマップの活用や、地域での見守りのネットワークの構築を考えてはどうか？

\*平成２５年６月定例会（質問件数２件）

（道立苫小牧病院廃止に係る町の考え方は）

１．道立苫小牧病院は、本年３月に策定された「新・北海道病院事業改革プラン」において、「平成２５年度末をめどに、東胆振・日高地域 における結核医療及び、呼吸器疾患に対する医療の機能を確保したうえで、廃止する」とされているが、本町において、結核患者が年間一定数いると思われるが、町民にどの程度周知されているのか。

２．道立苫小牧病院の廃止に伴い、町民から不安の声は届いていないのか。また、廃止により、住民へどのような影響が及ぶのか。

３．道立苫小牧病院の廃止に向けて、道の説明等があったと思うが、そのことに対し、町はどのように判断し、これまで、道への対応をどのように行ってきたのか。今回の廃止に伴い、中心的な受け入れ病院となる苫小牧市内の病院への医師の確保が不可欠だが、地域住民に不安を与えることなく、かつ、不利益を生じさせないよう。町として、受け入れ病院が所在する苫小牧市の負担とならないよう、道に対し万全な対策の確実な実行を要請するよう求めるが、町はどのように考えているのか。

（子供達に「生きる力」を養う社会教育の推進を）

１．子供たちの教育は、学校だけで行われるものではないと思うが、子供達の｢生きる力」をはぐくむ為に、学校・家庭・地域の連携が重要だと思うが、子供達の「生きる力」について町はどう考えているのか？

２．これまでも様々な取り組みはあるが、これからの次世代を生きる子供達 は、自ら問題を解決する力や、コミュニケーション能力や、物事を多様な 点から考察する力が必要だといわれているが、この浦河町にある豊かな自然を活用し子供達に｢生きる力」を養う社会教育の推進をしてはどうか。

\*平成２５年９月定例会（質問件数２件）

（浦河町における局地的な豪雨・土砂対策は？）

１．ここ近年、浦河町における災害発生の要因は、暴風雨によるものが最も多いようだが、浦河町における豪雨土砂災害に対する難勧告指示の発令はどのようになっているのか？

２．数年前から、北海道においてもゲリラ豪雨が多発するようになったが、浦河町内にも多くの洪水・土砂災害危険箇所があるが、地元住民に危険箇所について周知徹底されているのか？

３．現在の気象技術ではゲリラ豪雨などの状況を把握、予想が難しいとされているが、浦河町地域防災計画によれば、注意報、警報の伝達の箇所で浦河町から一般住民へ伝達することになっているが、どのような周知方法で周知されるのか？

４．町民の安心・安全な生活を守る為にも、また、豪雨・土砂からの被害を軽減する為にも地域特性に配慮した防災対策を推進してほしい。

（浦河町としてTPP断固反対の更なる声を！）

１．環太平洋連携協定（TPP）の会合がブルネイで、開かれたが国や道から、交渉内容についての報告はあったのか？又、報告内容についてわかる範囲で、教えていただきたい。

２．外国産馬の関税が撤廃されると 海外から軽種馬の流入が進む可能性があるが、道の試算では関税が撤廃されれば、その影響額は、１３２億に上ると試算されて いるが、浦河の軽種馬産業を守る為に、町はどのように考えているのか。

３．浦河町としてもTPP参加に反対の姿勢を示しているが、今現在の交渉内容では、守るべきものも守れない状況になりかねません。地域住民の安心安全な生活を守る為にも、すべての関税をゼロにするようなTPPなら脱退すべきと、各町と連携し、交渉が成立する前に、更に道や国に働きかけるべきでは。

\*平成２５年１２月定例会（質問件数２件）

（不登校や特別支援における児童対策の拡充を）

１．不登校児童、特別支援のここ近年の町が把握する子供達の推移は？

２．不登校児童や特別支援の対策について、町としての今後の考え方は？

３．これから町として、当事者目線に立った支援や、子供達1人1人を大切にした指導をするためにも、現状では予算や人員などを考えると、足りない気がするが、子供達のためにも支援の拡充を。

(人口減少下の中町民が豊かに暮らすために)

１．少子高齢化が進む中、当町の当初の計画よりも人口減少が進んでいるが、町はこのことについてどの様に考えているのか。

２．農業や漁業などを新規に始める方への支援や、又移住や婚活などの取り組など、人口減対策をしてきたところですが、町として今後新たな施策を考えているのか？

３．人口増対策も大事ですが、今この現状を把握し、人口が減少する中、いかに町民が豊かに元気に暮らすためにも、世代間を越えた繋がりを創出することが必要ではないか？

\*平成２６年３月定例会（質問件数２件）

（子育て応援施策の推進を）

　１．町としても様々な少子化・子育て支援対策を行っているが、今現在行われている施策はどんな分野でどのような事を実施しているのか。又それを踏まえ今後の改善や新たな展望が考えられるか？

　２．子育て世代を応援する為にも、子供を預かってくれる団体の紹介や、病後児を見てくれるボランティアの情報提供など、町のＨＰでの紹介等を拡充し、子育てと仕事を両立しやすい環境を支援する取り組みを進めてみては？

　３．０歳から１８歳迄（子供）の、子供の事や子育てについての悩みについて相談のできる窓口「子育てワンストップ窓口」の開設を考えてはどうか？

 ・幼児の成長や親の悩みに対し。（未就学児）

　　　　・義務教育におけるいじめや不登校の問題に対し。

　　　　・義務教育終了後の子や親の悩みに対し。（ひきこもりや就労問題等）

　４．今後、子供に係る問題や課題が多様化する中、従来の縦割りの組織の中に、それぞれの係やポジションを繋ぎ連携したり、子供に関する施策を総合的に推進する為にも「子供・子育て支援係」など子供に係る係の新設が必要なのでは？町としてはどのように考えているのか？

（認知症と介護対策について）

１．浦河町内の認知症患者について町として把握している件数及び推移は？

２．予防する為の施策を進める傍らで、増加が見込まれる認知症患者の介護をする人の支援も必要と思うが、介

　　護者への支援として、認知症患者への対応や介護の研習を企画してはどうか？

３．これからの高齢化社会を生きる上で、認知症患者や、それを支える家族が地域で安心して笑顔で暮らしてゆけるようにする為にも、今後の認知症対策への町の見解は？